



## 新入会員オリエンテーション小金井「萌え木ホール」にて開催

総務委員会委員長 小澤知信

2020年9月17日、新入会員オリエンテーションが小金井市の「萌え木ホール」にて開催された。対象は2019年7月1日以後の東京多摩支部入会者31名で、申込者12名、参加者10名だった。スタッフは26名が参加した。

野口支部長による開会挨拶の後、日本山岳会と東京多摩支部概要の紹介と、会員が守るべきルールや「Tokyo たま支部のトリセツ」で支部の「利用方法」が説明された。各委員会と同好会の紹介では自然保護員会の新たな取組みや、安全対策委員会のスピーチに新入会員からの反応が高かった。新入会員の自己紹介では、多数の方が積極的に個人的に山に行っていることがわかり、山行計画書の提出の励行が必要と思われた。記念撮影の後、高橋副支部長による閉会挨拶で終了した。



熱心に聞き入る新入会員たち

アンケートでは8名から「期待どおり」という評価を得た。期待する支部活動については、岩登り・沢登り・海外登山・テント泊など11種の活動が挙げられた。技術の向上を目指す講習セミナーの希望や、支部山行に参加して体力を付けたいという希望もあった。今後の支部活動に生かしていただきたいと思う。

### アンケートから

松島貴志子さん



「山を楽しもう！仲間と共に人生を楽しもう！」という会の雰囲気感激し、入会してよかった。「トリセツ」で疑問点も解消。

野口支部長の言われた通り、「会をうまく利用して」積極的に楽しんでいけたらと思います。これからの活動が楽しみです。

斎藤徹さん



支部をあげてしっかり準備していただいて感謝です。プレゼンテーション、資料、委員会のブースも用意されて、支部の活動や員会への理解が深まり、いい機会でした。

同好会の紹介に心惹かれました。沢登り、山スキー、海外登山…雑誌で眺めていただけの世界が身近になった気がします！



元木尚子さん



## 令和2年度支部合同会議開催される

事務局長 北島英明

9月26日(土)に主婦会館プラザエフ(四谷)にて支部合同会議が開催された。

今年はコロナウイルス感染防止のために会議を1日に短縮し、Zoom併用とするなど、例年とは違う形で行われた。支部参加者は52名(内Zoom38名)、本部参加者21名(内Zoom5名)だった。

古野会長の挨拶に次いで本部の会務報告がされた。坂井副会長は支部特別事業補助金と支部懇談会について報告。古川常務理事は財務会計の注意点と支部会計について報告し、コロナ禍により今年度の支部交付金が未消化で余剰が生じた場合、本部への返金を行わず、令和3年度の支部交付金に上乘せしするようにと述べた。飯田理事は2025年日本山岳会創立120周年記念事業について報告。萩原常務理事は全国山の日協議会について報告し、協議会新理事長に日本山岳会の梶正彦氏が就任されたと述べた。永田常務理事は年次晚餐会・オンライン活動・会員名簿・新入会申込書について報告。山本副会長による登山届け提出状況の報告では、2018～2020年の月平均件数は①東海22.5件②広島7.3件③東京多摩4.8件④関西3.8件だった。

近藤理事は山岳古道調査について報告し、支部へ候補申請を依頼する。なお、ほとんどの支部でイベントを中止又は縮小したが、岩手支部だけが予定通りイベントを実施したとのことだ。約4時間で閉会した。

## 日本山岳会エベレスト登頂50周年「記念資料・写真展」

奥多摩BC運営委員会委員長 坂本正智

1970年5月11日、日本山岳会隊はエベレスト登頂に、世界で6番目に成功した。今年はそのエベレスト登頂から50年目を迎える、記念すべき年である。マナスルからエベレストへと続く日本山岳会のヒマラヤ登山の精神は、その後も会員に引き継がれ、ヒマラヤ登山史に多くの記録を残した。



日本山岳会隊員の自負を胸にエベレストに挑んだ若者たちの姿を、50年後の会員にも見てもらいたい。そんな期待をこめて、「山の日」から8月の毎土曜・日曜に、第一会場をBCに、第二会場を木村ギャラリーにおいて、「エベレスト登頂50周年記念資料・写真展」を開催した。説明役をお願いしたのは、日本山岳会エベレスト登山隊に三度(70年、80年、88年)にわたって参加した神崎忠男氏。持ち前の絶妙な話術と、ヒマラヤに関する豊富な知識は、来場者に大好評だった。

8月の8日間の開催期間に87名の会員と一般の人々でご来場され、なかには懐かしい会員も見えた。

10月からは奥多摩アートフェスティバルにも参加し、11月末までBCで展示しているので、こちらにもご来場いただくと嬉しく思います。



会場で説明する神崎氏

来場された方々の寄せ書き





<第2期中級登山教室>

# 鋸山・大岳山 一雨の中を10時間の縦走

【日時】2020年7月25日(土)

【天候】雨時々曇り

【参加者】10名(受講生8名、講師2名) / 山行L 宮崎講師、北島講師

[1班] 松島、中村(敦)、広瀬 [2班] 大澤、藤本、石川、渡辺

【行程】8:10 奥多摩駅→8:35 愛宕神社→12:00 鋸山山頂(昼食)→14:20 大岳山山頂→15:00 大岳山荘→15:40 白倉分岐→17:40 白倉バス停=武蔵五日市駅

## 【記録】

中級登山教室はコロナ禍のために大菩薩嶺・小金沢連嶺縦走の予定が変更され、奥多摩の鋸尾根から大岳山・馬頭刈山日帰り山行になった。

天気予報では曇り時々雨だったが、奥多摩駅に着く前に雨が降りだした。駅でレインウェア着用し鋸山を目指す。最初の難関はほぼ垂直に上がる階段だ。雨の中、この階段を上がると思うとテンションが下がる。一気に上がりきると少し息が切れた。小休止をとって鋸山を目指して歩き出す。約4時間で鋸山山頂に到着。ランチ後、大岳山に向け歩き始める。足場の悪さと鋸山名物の鎖場で時間を取られ、予定から遅れて大岳山山頂に到着。雨が上がりレインウェアを脱ぐ。馬頭刈山を經由し軍道バス停に抜けるコースは無理と大澤Lが判断し、白倉分岐から白倉バス停のエスケープルートに変更した。白倉分岐を下り始めた頃から本降りとなり、シャツは汗と雨でびしょり濡れた。分岐から白倉バス停まで2時間かかった。休憩を含め約10時間、歩行距離約11kmだった。

今日も中級登山教室の厳しさを感じた。次回はレベルアップを目指したい。

(文/広瀬雅則 写真/藤本浩文)



鋸山の鎖場で苦戦



雨が一旦止んだ鋸山山頂にて

## ← 新人です よろしく!

(後列左から2人目) 藤本浩文さん

「連れて行ってもらう登山」からの脱却を目指して中級に。普段は過積載の腹に振り回されながらテニスもしています。

(前列左から3人目) 松島貴志子さん

夫婦+猫2匹暮らしです。月1~2回、山に登るようになって4年。山中2泊以上の縦走にチャレンジしたいです。

## ミニレポート

### 鹿島槍から展望をエンジョイ

日程/2020年8月23日(日)~24日(月)

参加者/村岡庸こ、会員外1名

行程/8/23 柏原新道→種池山荘→爺ヶ岳→

冷池山荘(テント泊)

8/24 冷池山荘→鹿島槍ヶ岳往復→冷池山荘→柏原新道



種池山荘付近でクマと遭遇

冷池山荘で幕営し、鹿島槍ヶ岳を往復した。展望に恵まれ、延々と連なる北アルプスの展望をエンジョイできた。

(村岡庸こ)



鹿島槍山頂から剣岳を望む

## ＜第2期中級登山教室＞

## 乾徳山 —草原・森林・岩場 三拍子そろった名峰—

【日時】 2020年9月21日(月・祝日)

【天候】 曇時々晴れ

【参加者】 11名(受講生8名、講師3名) [1班] 山行L 宮崎講師、広瀬、小澤、長岡、中村(敦)  
[2班] 佐藤(守)講師、中村(正)講師、藤本、山内、大澤、石川【行程】 7:55 塩山駅(タクシー)=8:35 大平高原→9:15 大平高原分岐→10:15 月見岩→10:25 扇平→  
11:50 乾徳山(昼食)→13:30 月見岩→4:05 高原ヒュッテ→14:30 錦晶水→15:05 銀晶水→  
16:00 乾徳山登山口バス停→16:45 塩山駅

## 【記録】

タクシーで塩山駅を出発。大平高原は18℃で適温だったが、霽っていた。草深いわらび畑を抜けると林道。間もなく大平高原分岐から樹林帯の斜面を進む。ススキが広がる月見岩周辺を通過し、一気に扇平まで進み一服。鹿を目撃したメンバーがいた。その後は、根がからみついた岩を縫うように登り鎖場に挑む。

山頂まで鎖場は3ヶ所。第1の鎖場(標高1900m)はロープがあったが、大半のメンバーが自力で這い上がった。髭剃り岩を過ぎ、薄暗い切り通しは身幅により通過が危ぶまれるメンバーもカニ歩きにより通過。その先は霽もはれ、足下には出発点の草原から登山道を見渡せる絶景。今度は足場が狭くちょっと怖い岩に3点支持を効かせてしがみついて登る。梯子で一旦下った所で渋滞。第2の鎖場であるカミナリ岩は垂直で、左右2本の鎖があった。下りもここを通過するが、帰りは足の置き場が分からず辟易した。奇石の胎内や空中に突き出たような旗立岩を通過すると、山頂直下の20mの鳳岩の鎖場。やはり渋滞。



鳳岩に挑む石川さん

這い上がると2031mの山頂まで僅かだった。全員無事に登頂。昼食。雲のため大パノラマはお預け。

下山は鳳岩を迂回し、とって返して月見岩で休憩。続いて白樺に囲まれた高原ヒュッテで休憩をとった。国師ヶ原周辺ではトリカブトの紫色に夏の余韻が漂っていた。錦晶水を通過し、銀晶水の冷たさで疲れを癒す。その後はだらだらと下り、右手から徳和川の音が聞こえると、間もなく登山道入口にゴールした。

鎖場は渋滞したが、ショートカットができ、余裕のある山行だった。山梨百名山、日本二百名山にふさわしい名峰と思う。(文/小澤知信 写真/藤本浩文)



乾徳山山頂で

## ミニレポート

## パノラマコースから涸沢の紅葉散歩

日程/ 2020年9月27日(日)～29日(火)

行程/ 9/28 上高地山研→パノラマコース→  
屏風ノ耳→涸沢ヒュッテ

9/29 涸沢ヒュッテ→上高地山研

参加者/ 清水(義)、越智、中川(信濃支部)

急峻なパノラマコースから涸沢へ。屏風ノ耳で360度の大パノラマを堪能。翌朝は北穂高から奥穂高にかけてモルゲンロートを楽しんだ。

(清水義浩)



紅葉とモルゲンロートの競演

屏風ノ耳付近から  
ナナカマドと槍ヶ岳



## &lt;8月定例山行&gt;

## 小櫛山 一幕岩山頂から 360度の展望を楽しむ

【日 時】2020年8月1日(土)

【天 候】曇り

【参加者】14名 / [A班] 人見、清水(節)、三尾、班 SL 中尾、SL 中原 [B班] 加瀬、石川、佐久間、班 SL 齋藤  
班 L 広瀬 [C班] 菅野(丈)、大澤、班 SL 小野、L 西山【行 程】7:40 塩山駅=(タクシー)⇒8:15 登山口/フフ山梨⇒8:45～50 休憩⇒9:25～35 母恋し道→  
10:10～15 休憩⇒11:00 小櫛峠⇒11:15～45 山頂⇒11:55 小櫛峠⇒12:10～40 幕岩⇒13:00 大沢山→  
13:30～50 休憩⇒14:25 焼山峠⇒15:20 柳平(解散)

## 【記 録】

梅雨明けが遅れていた。4時頃雨音がして目が覚めた。出かけまでには雨はやみ、塩山駅で14名の顔ぶれを確認できた。コロナ対策の一環で山行3日前からの体温体調報告をメモで受け、体温計を各自の額に向け、タクシーに乗り込んだ。登山口に8時過ぎに到着。3班に分け、今回は班単位で行動することを強化すると告げる。フフ山梨からダートな林道歩きだが、昨夜塩山で大雨が降り、林道もナメ沢のように水が流れている。標高を上げると沢が山を分けて伐採も施され見晴らしがいい。父恋し道の道標をやり過ぎて、母恋し道への分岐前の広場で休憩。樹林帯の中、水気の多い登山道を石や根っこに注意を払いながら登る。後発の隊が小櫛峠に到着したのは11:00。山頂まで15分ほどの緩やかな登り。平らな広い小櫛山山頂から、富士山、南アルプス、甲府盆地が見えるはずだが…。雲が切れなかった時だけ少し見えた。手うちわでは雲が追い払えず、幕岩へ向かうことに。幕岩直下で、先発幕岩組以外は大沢山へ向かってもらう。幕岩からの360°の展望を楽しんだ後(雲や山の影や街のぼんやりなど)、入れ替えて大沢山へ向かう。7～8mの幕岩への登りは鎖がついている。2班とも幕岩の登り下りを済ませたあと、幕岩直下で合流。途中「的石」を見るために分岐を新道にとり、下山した。予定より1本前のバスに乗ることができた。(文/西山さより 写真/大澤則彰)



小櫛山山頂にて

😊 感想・佐久間/焼山峠までの  
路でシモツケ草、エゾウスユキ草、  
ヤマオダマキなどが、目を楽しま  
せてくれました!



加瀬尚さん(左)

新人です よろしく!

菅野丈人さん(右)

20代の頃、蓮華温泉で見た満天の星が忘れられない。50代になって行った武甲山で山スイッチが入り、登山を再開。ランニング、筋トレ、ちょい飲みも趣味です。



登山教室で山にはまってしまいました。多摩百山も半分位登ったので、最近では山梨、長野、埼玉にも脚を伸ばしている。アルプスを目指して登っていきたい。

## ミニレポート

## 天目山で中級登山教室の課外授業

日時/2020年9月5日(土)

参加者/講師:宮崎・中村(正)、広瀬、長岡、中村(敦)、山内、大澤、石川、藤本、渡辺、小澤

行程/奥多摩駅→東日原→一杯水避難小屋→天目山(ピストン)

当初は天目山から蕎麦粒山經由し鳥屋戸尾根から川乗橋を目指す計画。気合十分だったが午後から雷雨の予報。そこで天目山ピストンに変更。最後は土砂降りの中をバス停に駆け込んだ。(石川さとみ)



天目山山頂

## &lt;9月定例山行&gt;

## 三頭山 一雨のために御前山は断念

【日 時】 9月13日(日)

【天 候】 晴れのち雨

【参加者】 4名/L小野、SL三尾、皆川、石橋(9:30以降参加)

【行 程】 5:35 三頭山荘→5:50 都民の森→6:17 森林館→6:45 野鳥観察小屋→8:00 三頭山東峰展望台→8:05 中央峰→  
8:10～20 西峰→9:11～25 鞆口峠→9:40～45 里山の路・柵ノ尾→10:22～45 風張峠→  
11:08 月夜見山→11:25 第二駐車場→11:45 奥多摩周遊道路→13:05 都民の森→14:32 武蔵五日市駅(解散)

## 【記 録】

雨天のために1日順延して実施。前日、宿泊した数馬の三頭山荘は江戸時代初期から続く築400年の由緒ある古民家だ。

当日、5:35、快晴の中、都民の森へ宿の車で送ってもらう。大滝へ通じるセラピーロードは通行止めの看板があり、大滝の手前に櫛平の路経由の三頭山への案内が出ていた。九十九折の山道を登り、コマドリの路を30分程歩くと三頭山から鞆口峠に連なる尾根道に出た。荷物をデポし三頭山へピストン。



月夜見山山頂にて

東峰展望台から尾根通しに中央峰1531mへ行き、30mほど下り、20mほど登り返して西峰1524.5m着。午後から雨の予報なので早々に山頂を後にする。

風張峠に行く星山の路・柵ノ尾で石橋さんが合流した。風張峠で一休みしているとガスが出始め、霧は濃くなる一方だった。月夜見第二駐車場に着く前に雨が降り始めたので、奥多摩周遊道路を歩いて都民の森に向かうことにした。標高が下がるにつれ雨は小降りになった。武蔵五日市駅で解散。周囲の山は雨雲に覆われて全く見えなかった。

(文・写真/小野勝昭)

## 新人です よろしく!

皆川直美さん(写真右)

7期初級登山教室修了生です。教室とは一味ちがう山歩きを体験し、まだまだ力不足だと痛感しました。山行に参加しながら、多くの山友達を作りたいと思います。



感想・三尾/雨なら宿で朝からのんびり酒でも飲んでいれ  
ばいいやと思っていましたが、Lは真面目だった。大滝は通行止めなので、鞆口峠に近道で行くのかと期待したが裏切られ、三頭山に向かった。雨になってきたのでLは「縦走を続けるか」と聞いてきた。私は笑顔で「十分歩いたから帰りましょう」と返事をした。久しぶりの楽しい仲間との山行だった。



感想・皆川/三頭山荘では温泉で疲れを流し、名物の小鉢料理に舌鼓をうち、さまざまなお話を聞いた。定例山行初参加の私には思い出深いものとなった。

## ミニレポート

## 阿弥陀岳南稜 核心は中央稜の下りだった

日時/2020年9月19日(土)

参加者/L佐藤、SL齊藤、清水(茂)、中原、村岡

行程/舟山十字路→立場山→青ナギ→無名峰→P3→阿弥陀岳山頂→  
中央稜→広河原→舟山十字路

登りは無名峰までは急登をくり返す。P3を左に巻いたあとのトイで50mのロープを設置。山頂から「八ヶ岳ブルーの空」に、360°の展望。帰路は御小屋尾根分岐を過ぎてから急な斜面を延々と下る。広河原に着いたときには歓声をあげた。(村岡庸こ)



阿弥陀岳山頂にて

P4の登り



## &lt;7月平日山行&gt;

## 高岩山・御岳山奥の院 —梅雨明けを願いつつ—

【日 時】2020年7月16日(木)

【天 候】曇り一時小雨

【参加者】9名/L石橋、SL小野、酒井、佐久間、川島、吉田(博)、菅野(丈)、中村(美奈)、上田

【行 程】8:17 武蔵五日市駅発=9:04 大岳鍾乳洞入口→10:45 高岩山→12:05 展望台→12:43 上高岩山→  
13:14 芥場峠→13:43 鍋割山→14:17 奥の院→長尾平→15:40 御岳ビジターセンター

## 【記 録】

養沢神社境内で準備をして出発。サルギ尾根の登りはいきなりの急登で驚くが、気持ちを落ち着かせてゆっくり足を運んでゆく。標高差200mが我慢のしどころ。曇り空のおかげで日差しのないことが救いだ。息が上がる割に体力の消耗が少ない。1時間ほど登り続け、登りが緩くなった地点(656m)で一息入れた。ここは「大名子の頭」だ。

「炭焼き窯跡」を過ぎ、露岩帯を過ぎると高岩山(920m)に着く。今日は展望がないので上高岩山へ向かう。12:00過ぎに展望台に着いて昼食休憩とした。ここにも展望はない。晴れていれば高岩山から金比羅尾根方面が見えるはずだ。

急登だったが全員の体調は良好の様子。12:30、鍋割山に向かって出発。尾根を辿って静かな上高岩(1012m)を過ぎ、一旦芥場峠に下る。鍋割山分岐から緩傾斜の立派な登山道を登っていくと平らな鍋割山(1084m)に着いた。写真を撮り、東へ直角に折れた道を奥の院へ向かう。ピークを巻く道を分け、まさに修行の山を思わせる岩混じりの急な尾根を登ると、14:17、一隅にひっそりと小さな祠が建つ御岳山奥の院山頂(1077m)に登り着いた。以前、ここは鬱蒼とした木立に囲まれて暗く、天狗でも出てきそうな雰囲気だった記憶があるが、開けて明るく、印象の違いに驚いた。



鍋割山山頂にて



高岩山の登り

下山は直下にある縦走路を目指して社殿まで下り、天狗の腰掛け杉まで尾根伝いに下る。天気急変で小雨が降り出したが、すぐに降り止んだ。降りた縦走路を辿って長尾平に着き、御岳ビジターセンターへ向かう。15:40、ビジターセンター前で解散し、徒歩組とケーブル組に分かれて下山した。

(文/石橋 学 写真/酒井俊太)

## ミニレポート

## 南アルプス尾白川・鞍掛沢 白い沢床と緑の釜

日程/2020年8月13日(木)

参加者/植竹(会員外)、SL伊藤(会員外)、野口、植草

行程/立石登山口→鞍掛沢→乗越沢→

鞍掛山と駒岩のコル→駒岩→日向山→立石登山口

林道を2時間歩いて鞍掛沢に入渓。白い花崗岩の沢床とエメラルドグリーンの水をたたえた釜が続く美渓だ。乗越沢に入ってからひらすらコルまでつめ上げる。下山路は長く、アップダウンがあり、2日行程を1日で歩いた感じだった。(野口いづみ)



白とエメラルドグリーンのコントラストが美しい



白砂が夕陽に染まる黄昏の日向山(「天空のビーチ」)。正面に八ヶ岳が浮かぶ

## &lt; 名山を楽しむ会 &gt;

## 十勝岳・トムラウシ山 —残雪とお花畑を求めて—

【日 時】2020年7月19日(日)~20日(月)

【天 候】7/19 晴れ 7/20 晴れのち曇り

【参加者】5名/L佐藤、SL村岡、鬼村、斎藤、清水(茂)

【行 程】7/19 4:50 白銀荘→6:04 雲ノ平分岐→7:35~45 昭和噴火口→9:00~15 十勝岳→(往路を戻る)→  
13:10 白銀荘(入浴)=17:30 東大雪荘7/20 4:00 出発=4:30~40 短縮コース登山口→6:00 カムイ天上→8:00 コマドリ沢→8:53 前トム平→  
9:45 トムラウシ公園→10:48 トムラウシ分岐→11:38~12:00 山頂→(往路を戻る)→18:00 登山口  
=18:30 東大雪荘

## 【記 録】

◇7/19◇白銀荘を出発。快晴で清々しい。樹林帯を抜けて黒い岩場を登る。雲ノ平分岐を過ぎると登山道は広く、火山礫の乾いた岩の中にイワブクロなどの花が咲いている。振り返ると広大な裾野が見渡せ、スケールの大きさを感じた。避難小屋を過ぎると徐々に急になり、十勝岳が見えてきた。右には大きなグランド火口、左にはスリバチ火口と美瑛岳。宇宙映画に出てきそうな景色の中を歩く。山頂近くの稜線は岩だらけのガレた急斜面。前十勝岳からの噴煙が近くなる。富良野岳、美瑛岳を見ながら稜線を詰めると山頂に到着。360°の大展望だ！明日登るトムラウシ山や富良野岳、日高山脈、夕張山地も見えた。十勝連峰最高峰だけあって見飽きない展望。写真を撮ってから下山した。

◇7/20◇長丁場を覚悟して意気揚々と出発。カムイ天上の先までは樹林帯を歩く。途中に一面のお花畑があった。コマドリ沢を渡り、雪渓を越えると岩場となり歩きにくい。この辺りはナキウサギの生息地だが、鳴き声はすれども姿は



見え。前トム平ではエゾコザクラの大群落。このころから雲が出てきた。板状の岩場を越えると巨岩や奇岩が立ち並び、色とりどりの高山植物が咲き乱れるトムラウシ公園だ。池も雪渓もある。夢のように美しい。再び急斜面を登ると山頂部が大きく迫ってきた。トムラウシ分岐から大きい岩をよじ登り詰めると山頂に出た。ガスのため展望はなかったが、時折大雪山からの縦走路が見えた。谷底には雪渓がたっぷり残っていた。リーダーが雪渓の雪でカキ氷を作ってくれた。露岩やガレ場の連続、登り返しや急坂、疲れた体に堪える。登山口に戻った時はホッとしたと同時に達成感があった。当初の計画では避難小屋泊の縦走だったが、コロナ禍で麓の宿からのピストン山行に変更した。それでも素晴らしい北海道山行だった。

お花畑からトムラウシ山を望む

(文/清水茂美 写真/鬼村邦治・佐藤守)



十勝岳山頂にて



十勝岳の噴火口



コマドリ沢の雪渓



## &lt;名山を楽しむ会&gt;

## 白馬岳 —蓮華温泉から猿倉へ—

【日 時】 2020年8月8日(土)～9日(日)

【天 候】 8/8 曇り一時雨 8/9 雨のち霧

【参加者】 4名/L佐藤、SL中原、中村(敦)、齊藤

【行 程】 8/8 大糸線平岩駅(12:29 集合) 13:43 出発=14:40 蓮華温泉(泊)

8/9 4:00 出発→7:35 白馬大池→9:45 小蓮華岳→11:30 白馬岳→12:20 白馬山荘  
→15:55 白馬尻小屋跡→16:55 猿倉=17:30 白馬駅

## 【記 録】

◇8/8◇天気予報の「風雨の荒れる恐れ」を気にかけながら、大糸線の平岩駅からバスで蓮華温泉に向かった。宿に着いた時は雨が上がっていた。趣のある評判の野天風呂を堪能し、早めに就寝。

◇8/9◇3 時起床、4 時出発。朝方からまた降り始めた雨の中、レインウェアを着用し、ヘッドランプを付けた。白馬大池まで 1000mの登り。つづら折りの樹林帯は、登山道がぬかるみ、岩や木の根は滑りやすく、時間がかかった。天狗の庭では風が強まり、雪倉岳・朝日岳方面には黒い雲がかかっていた。稜線での風が不安になり、足取りも重くなる。それでも、白馬大池へ到着すると、視界は少し鮮明になった。「2 時間先の小蓮華岳で引き返すかどうかの判断をしよう」と言うリーダーの言葉に、さらに標高を上げる。

白馬大池から辺りは一変し、高山植物の花畑となった。チングルマ、ハクサンイチゲ、イワイチョウにアキノキリンソウ、ハクサンフウロ。白や黄色や紫の絨毯。女王のコマクサにも出会えた。花に元気づけられ足も進む。ハイマツが増え 2500mを超えると視界も 10mほど。まだかまだかできていた小蓮華岳で、なんとか記念撮影をした。

紫のウルップソウ

霧に包まれた小蓮華岳山頂



白馬岳の大雪渓



雷鳥の親子に出会いました



風は時折 15mを超えるが、白馬岳を目指すことにする。三国境を越えると最後の登り。ガレ場の縦走路は歩きにくい。霧の

中をひたすら標高を上げ、ついに 2932mの白馬岳に。山名標柱はなく、方位盤前で記念撮影。

白馬山荘まではわずかだったが、風が強まり気温も低かった。山荘で休憩を取り、大雪渓へ向かう。白馬鎚方向と分岐し、頂上宿舎まで下ると風も弱まり、視界も開けて来た。その先の傾斜のキツイ登山道では、雷鳥の家族に出会えたし、オニユリやミヤマキンポウゲの花畑に見送られ、大雪渓に到着。軽アイゼンで歩く雪渓は予想より短く、天候回復して見える白馬岩峰を振り返りながら、閉鎖中の白馬尻小屋跡に。さらに長い林道を下り猿倉に到着した。

標高差登り 1700m、下り 1900m、13 時間近い山行はハードで、天候にも恵まれなかったが、この時期ならではの沢山の花々に魅了された。コースを変えてリベンジしたい。

(文/齋藤理恵子 写真/佐藤守・中原三佐代)

白馬岳山頂も霧の中

## &lt;名山を楽しむ会&gt;

## 飯豊山・大日岳 — 梶川尾根から大嵩尾根を下る —

【日 時】2020年8月19日(水)～23日(日)

【天 候】8/20 快晴、8/21 曇り時々晴れ、8/22 晴れのち曇り

【参加者】4名／ L佐藤、SL酒井(眞)、齋藤、中原

【行 程】8/19 12:00東所沢＝道の駅「白い森おくに」泊

8/20 道の駅＝5:35飯豊山荘登山口発→8:20湯沢峰→12:10梶川峰→13:40門内小屋泊

8/21 4:40門内小屋発→5:50北股岳→7:50烏帽子岳→11:50～13:00御西小屋→14:30～50大日岳→  
16:20御西小屋泊

8/22 4:35御西小屋発→6:20～55飯豊山→10:00宝珠山→16:25吊り橋→17:20飯豊山荘→梅花皮荘泊

8/23 8:40 梅花皮荘発＝14:40東所沢駅(解散)

## 【記 録】

◇8/19◇車で山形へ向かい、道の駅でツェルト泊を初体験した。

◇8/20◇登山口からいきなりの急登で、久しぶりの重いザックに振られる。途切れることない急登続きに加えて、太陽が照りつける。水分消費が半端ない。五郎清水で水分補給。冷たくて、美味しい！ 元気が戻ってきた。梶川峰に到着した時は飛び上がる嬉しさだった。対面に目指す稜線が開けていて、素晴らしい景色。門内小屋まで気持ちよく歩いた。小屋番さんに「今日は最高の天気だよ」と言われた。幸せだ。

◇8/21◇今日歩く稜線は連峰の核心部であり、山の楽園を歩く一日と紹介されている。まさに、登山道の両脇に花々が競うように咲き、雪渓が残り、池塘が点在し、大きな眺望にはしゃいだ。私たちはこの稜線を「飯豊銀座」と名付け、一步一步楽しんだ。

◇8/22◇疲労が溜まってきている。大嵩尾根を下山するので、気を引き締めて出発。飯豊山頂は私たちを待っていてくれたかのようにガスが取れ、素晴らしい展望を見せてくれた。大嵩尾根は2020年の地図から実線ルートに変更されたようだが、整備されたコースなら間違いなく、ロープか鎖が設置されている



山頂から大日岳を背にして

飯豊山頂にて

だろうという箇所、道が不明瞭な箇所、足場の悪い草付き斜面のトラバースがたくさんあり、アップダウンの連続だった。長坂清水で給水するが、水場に下りるまでが大変だった。水を得るために命をかける。そんな水場だった。命がけで汲んだ水は、これまた美味しかった。水が補充されると気持ちが潤う。吊り橋まで激下りの連続、すでに足はガクガク。下っても下っても着かない。自分を奮いたたせて、集中を切らさないように「一步一步行けば必ず着く」と言い聞かせながら歩いた。集中を切らずと絶対怪我する気がした。下山後の温泉は至福の時だった。

飯豊山は、覚悟して挑まないと弾かれる気がした。反面、水を大量にたたえ、包み込んでくれる温かさも感じられた。懐深いデッカイ山だった。

(文／中原三佐代 写真／佐藤守・齋藤理恵子)



烏帽子岳から御西小屋へ

大嵩尾根から下山する







## &lt;個人山行&gt;

## 至仏山・尾瀬ヶ原・尾瀬沼 — 尾瀬の広さに癒される —

【日 時】2020年9月11日～12日 【天 候】9/11 晴れのち曇り 9/12 曇り

【参加者】5名/L野口、SL高橋(あ)(神奈川支部)、川島、桜井(美)、嶋田

【行 程】9/11 8:50戸倉=9:30鳩待峠発→13:00至仏山→16:15鳩待峠→17:50山の鼻

9/12 7:00山の鼻→尾瀬ヶ原→9:15見晴→10:50白砂峠→尾瀬沼→13:30三平峠→14:30一ノ瀬

【記 録】◇9/11◇鳩待峠を出発し、原生林を抜ける。原見岩から、尾瀬ヶ原に池塘が白く輝き、その向こうに燧ヶ岳が青くそびえているのが見えた。小至仏山の手前から蛇紋岩の岩場が続く苦戦。至仏山はガスで展望がなかった。鳩待峠から山の鼻への登山道はクマの出没情報があり、熊鈴を鳴らしながら下った。

◇9/12◇尾瀬ヶ原の木道に行く。池塘につがいのカモを発見。見晴から樹林の中を登る。白砂峠で眼前に悠々と木の葉を食むシカがいた。沼尻で尾瀬沼を眺めながらランチ。燧ヶ岳の上半分は厚い雲の中だった。三平峠からの下りにひと汗をかき、石清水で喉をうるおす。

尾瀬の広さを堪能した2日間だった。この2日間で歩いた距離は30km。私の最高記録になった。

(文/川島ひろ子  
写真/野口いづみ)



左・尾瀬ヶ原のダケカンバと池塘  
右・湿原に延びる木道



尾瀬を見渡す原見岩で

## 奥飛騨の沢上谷(ソーレ谷) — 三つの大滝に魅せられて —

【日 時】2020年9月22日 【天 候】晴れ

【参加者】3名/L中村(哲)、中村(照)、今村(会員外)

【行 程】7:15道の駅奥飛騨温泉郷上宝⇒7:50～8:15県道89号入渓点⇒9:00五郎七郎滝⇒10:10岩洞滝⇒

11:10蓑谷大滝⇒13:00終了点⇒14:15入渓点

【記 録】入渓後30分で枝沢に入ると最初の五郎七郎滝が現れる。二本の滝が合わさり緩いカーブを描いたナメ滝だ。本流に戻って進むとナメ床が赤い岩盤に変わった。30分で二つ目の岩洞滝がある枝沢に入った。絶壁から流れ落ちる30mの滝は壮麗で、滝裏に入ることもできた。本流に戻って30分すると、三つ目の蓑谷大滝にぶつかる。垂直近くに立



った30mの一枚岩から流れ落ちる滝は圧巻。大滝を見ながら昼食をとる。

高巻きの下降は70mあり、上部は急で足場が悪く、25mほど懸垂下降で降りた。落ち口からは幅広の明るいナメ床がどこまでも続いて、木漏れ日の中を歩くのは気持ち良かった。ナメ滝の二俣は右が本流で傾斜の緩い15mの滝になっている。フリクションを効かせて登った。ナメ床が狭くなってくると終了点の橋がある。その先もナメ床は続いていた。

(文・写真/中村哲也)



## インフォメーション／山行・イベント

★は「体力／技術」

### ＜山行委員会 / 定例山行＞

◆鍋割山（丹沢）12/12(土) ★★★  
ブナ林と富士山展望の周回コース。集合 / 小田急線渋沢駅 07:30=(タクシー)=表丹沢県民の森入口→二俣→二俣分岐→小丸→鍋割山→後沢乗越→ニズビ沢出合→二俣→大倉バス停=渋沢駅、歩行時間 / 7 時間 30 分、申込 / 赤坂(憲)、締切 12/3(水)

◆権現山（中央線沿線）1/23(土) ★★★  
雄大な山稜の権現山から遠望を楽しもう。集合 / 上野原駅 7:10=(タクシー)=初戸→和見分岐→権現山→二本杉→用竹バス停=(バス)=上野原駅、歩行時間 / 7 時間、申込 / 清水(茂)、締切 1/13(水)

◆浜石岳（静岡）2/27(土) ★★★  
大展望を楽しみ歴史の峠道を歩く。集合 / 東海道本線由比駅 8:40→曙橋先の登山口→西山寺→青少年野外センター→浜石岳→但沼分岐→立花分岐→承元寺分岐→薩埵峠→旧道薩埵峠→興津駅、歩行時間 / 7 時間、申込 / 石橋、締切 2/17(水)

◆美ヶ原 3/13(土)～14日(日) ★★★  
雪原をスノーシューで楽しもう。13 日集合 / 下諏訪駅 10:10=美ヶ原高原ホテル→王ヶ頭→王ヶ鼻→山本小屋(泊)、14 日 / 山本小屋→茶臼山→山本小屋→牛伏山→物見石山→山本小屋=下諏訪駅、歩行時間 / 13 日 3 時間 50 分、14 日 6 時間 40 分、申込 / 小野、締切 3/6(土)

#### ＜連絡先＞

石橋 學	m.ib@gaea.ocn.ne.jp	090-2670-0895
小野 勝昭	katuaki.ono@gmail.com	090-9014-7251
清水茂美	bunta.nanako.aitaiyo@gmail.com	090-8327-3362
副島一義	mayu333soe@nifty.com	090-5778-7336
内藤誠之郎	siro7110@yahoo.co.jp	080-3024-7882

### ＜山行委員会 / 平日山行＞

◆秋山二十六夜山（道志）12/24(木) ★/★  
富士山見納め山行。集合 / 上野原駅 08:20=浜沢バス停→二十六夜山→下尾崎バス停=(タクシー)=上野原駅、歩行時間 / 3 時間 15 分、申込 / 齊藤、締切 12/7(月)

◆鋸山（房総）1/21(木) ★/★  
初春に東京湾越しの富士を眺める。集合 / JR 内房線浜金谷駅 10:15、浜金谷駅→(車力道コース)→地球が丸く見える展望台→鋸山→日本寺北口(境内見学)→(関東ふれあいの道コース)→観月台→浜金谷駅、歩行時間 / 4 時間、申込 / 内藤、締切 1/11(月)

◆棒ノ折山（奥多摩）2/25(木) ★/★  
安全に雪山を登る。集合 / 青梅線川井駅=7:20(バス)=清東橋→奥茶屋→棒ノ折山→奥茶屋→清東橋=川井駅、歩行時間 / 2 時間 55 分、状況次第で時間がかかる。申込 / 副島、締切 2/9(金)

◆四阿山直下（秩父）3/18(木) ★/★  
福寿草を観賞。集合 / 10:00 西武秩父駅薬師の湯行きバス停=薬師の湯→両神山神社奥社→薬師の湯=西武秩父駅、※参加 12 名、歩行時間 2 時間 45 分、申込 / 副島、締切 3/5(金)

### 登山技術講習会 山行委員会

山行委員会で新山行委員に対する登山技術講習会（リーダー講習）を 9 月から開始しました。2 年程度で定例山行等のリーダーとして独り立ちさせる計画です。本年度中の講習予定（10 月までは実施済）は次の通りです。

9/27 日和田山（ロープワーク、岩登りの基礎）参加 6 名  
10/3～4 南八ヶ岳縦走（硫黄岳～赤岳～阿弥陀岳 岩稜歩行）参加 6 名  
10/17 伊豆ヶ岳東尾根（地図読み）  
11/7～8 国師ヶ岳～金峰山～瑞牆山（山小屋泊縦走、ガスコンロ調理）  
11/21 御岳山～子ノ権現～スルギ～前坂（吾野駅から周回）（地図読み）  
12/5 日和田山（アイゼンを使用した岩登り）  
1/30 八ヶ岳西岳（アイゼン雪上歩行）  
2/20～21 丹沢主脈縦走（山小屋泊縦走）  
3/ 未定 西穂独標（雪上訓練と登頂）

## 会務報告

### 幹事会報告（特記事項のない委員会の報告は省略。詳細は支部 HP「会議案内」を参照）

121-123 回幹事会報告出欠（121 回村岡幹事欠席、123 回植草幹事欠席以外、出欠と会場は変わらないので省略）

出席：野口支部長（会報兼務）、高橋副支部長（10 周年記念兼務）、佐藤幹事長、北島事務局長（安全対策兼務）、小澤（総務）、植草（財務）、岡田（ICT）、高砂（山行）、河野（自然保護）、中村（敦）（奥多摩 BC）、村岡、（監事）小口、竹中、計 12 名、記録 佐藤

会場：立川女性総合センター 5 階第 1 会議室

#### ■第 121 回 幹事会報告

日時 2020 年 7 月 21 日（火） 18:30～20:15

[野口支部長挨拶] 奥多摩町の羽黒三田神社からコロナ禍により例大祭は中止し神事のみ関係者で行うとの知らせがあった。支部の各種事業も感染防止に注意して進めていただきたい。

#### [審議事項]

コロナ禍の影響を受けて前回幹事会以降に計画が変更された事業について、各委員会、PT から説明を受け審議を行い、了承された。**（山行）** 支部山行で、参加者に対し支部長監修の注意喚起の書面を渡す。**（植草、財務）** 3 年間支部会費未納者は規程に基づき除籍するとの報告があり、承認。

**（中村、奥多摩 BC）** 利用者が置いていく協力金の扱いについて提議があり、雑収入として支部会計に入れることにした。

[事務局連絡] **（北島）** 埼玉支部から「設立 10 周年記念誌」が寄贈されたので奥多摩 BC で保管・閲覧する。都岳関連連：自然保護委員会が主催する「2020 おもしろ地球観察会」参加者募集。

#### [委員会報告]

**（財務、総務、安全は別表参照）**

**（小澤、総務）** 新入会員オリエンテーションを 9 月 17 日に小金井市民会館（萌え木ホール）で実施する。新春の集いはコロナ禍で飲食不可などから実施が不確定だが 1 月 31 日に国分寺リオンホールを予約申込みする。会員名簿・委員会名簿の作成は個人情報開示確認作業があるが、主要規程の他、委員会からの案内（登山計画書フォーム等）を盛り込みたい。次年度総会は 5 月 15 日（土）で検討中。

**（高砂、山行）** 企画係を設置し山行案の取りまとめ、会員のニーズ把握、支部山行参加者の増加に備えて山行委員の募集と育成に取り組む。

**（河野、自然保護）** 野火止保全活動の 1 回目を 6 月 28 日実施、2 回目を 7 月 28 日（火）に予定。

**（佐藤、安全対策）** 副委員長に石井委員が就任。

**（中村、BC 運営）** 奥多摩 BC の利用を条件付きで 7 月 1 日から再開。芋煮会を 11 月 28 日に予定。什器・備品等の棚卸し等をする予定。

**（河野、登山教室）** 8・9 期の教室再開、10 期以降の登山教室の取組みを検討。少人数で PT を開催しているが、多くの PT メンバーが参加できる方を検討する。

**（野口、会報）** 今日になって新たに山行、講演会などの企画が出されたが、会報はほぼ組まれており、原稿の修正に追われる。企画は幹事会で発表する前に会報委員会に知らせてほしい。

#### ■第 122 回 幹事会報告

日時 2020 年 8 月 18 日（火） 18:30～20:10

[野口支部長挨拶] 7 月は平日山行、8 月は定例山行と実施できた。今後も着実に実施できれば良い。本部理事の柏澄子さんから Team KOI「登山 with コロナ」のポスターが送られてきた。奥多摩 BC、イベント、講演会などの際に掲示してほしい。資金寄付も募っている。

#### [審議事項]

コロナ禍の影響を受けて前回幹事会以降に計画が変更された事業について、各委員会、PT から説明を受け審議を行い、了承された。**（事務局）** 南関東三支部合同懇親山行について神奈川支部から中止との連絡があった。支部合同会議は 9 月 26 日に開催予定だが、出席者は各支部 1 名のみなので北島事務局長が出席予定。**（総務）** 新春の集いは、1 月 31 日は会場予約できず、2 月 13 日で予約した。直前までキャンセル料がかからないが、現時点では会場内での飲食が不可なので「新春の集い」としていかがなものか疑問があり、12 月中に実施の可否について結論を出す。**（山行）** 9 月の定例山行は槍ヶ岳を三頭山・御前山に変更し実施予定。

**（安全対策）** 10 月の奥多摩山岳救助隊による講演会は中止。「山の日」に予定していた奥多摩駅前の安全登山啓発チラシ配布は東京都からの指示で中止。**（登山教室）** 初級登山教室の来期の実施方法について結論は出ていない。中級登山教室は 7 月の鳳凰三山を大岳山の日帰りに変更して実施。9 月の常念岳～蝶ヶ岳は未定。**（10 周年記念事業）** 雲取山集中山行は PT の結論待ち。海外トレッキングはモンゴル・エベレスト街道とも中止。ザンスカールは、来年 7～8 月に延期し実施可能性を探る。

[事務局連絡] **（北島）** 事務局に清水茂美さんが加わり、中村敦子さんと山内ひとみさんが補佐をする。主として立川市女性総合センターの予約業務を担当する。

#### [委員会報告]

**（財務、総務、安全は別表参考）**

**（小澤、総務）** 新入会員オリエンテーションを 9 月 17 日開催予定。会員名簿 2020 年度版は 8 月末に確定し、定形外郵便にて 9 月下旬から 10 月初旬に発送予定。2018 年度と同様、主要規程、各委員会からの案内（登山計画書ホーム等）を盛り込む。

**（野口、会報）** 会報「たま」第 41 号は 12 頁で 8 月 6 日に発送し、8 月 7 日にメール送信した。第 42 号は 11 月上旬に発行予定。原稿締切りは 9 月末。**（高砂、山行）** 上原加津維氏と中尾理絵氏が入会した。ZOOM を使用したオンライン会議の運用を検討。次年度の山行の検討。

**（河野、自然保護）** 野火止保全地域「秋の観察会」を 10 月 23 日と 11 月 29 日に実施予定（p.16 参照）。第 2 回野火止保全活動として 7 月 28 日にシュロ伐採。第 3 回は 8 月 23 日に残りのシュロ伐採予定。東京都からの消耗品等希望調査に併せ希望消耗品等をまとめる。10 月 29 日に立川市女性総合センターで、石井誠治講師による「高尾山人気の秘密と植生の不思議」を開催予定。



(北島、安全対策) フリートーキングを実施。山行委員会とのコラボレーションにより山行と併せた講習実施の希望もあった。

(河野、登山教室) 次年度初級登山教室について協議。8期は受講生を2班に分けて少人数山行として実施する案、9期は更に1年間休止とする案が出された。コロナ次第なので引き続き検討していく。

(高橋、10周年記念事業) 記念事業はほぼ終わったが、海外登山のザンスカールが残っている。実行されれば支援活動も必要なので決着が付くまで、委員会を継続する。

(監事)(小口) 委員会が協力し合って良い方向に持って行ってほしい。

(竹中) BCの「エベレスト写真展」は周知方法を検討する必要がある。

### ■第123回 幹事会報告

日時 2020年9月15日(火) 18:30～20:10

[野口支部長挨拶] 17日の新入会員オリエンテーションは本部評議員懇談会と重なっているが、オリエンテーションに出席する。8月は中級登山教室、定例山行も実施され、奥多摩BCのエベレスト50周年写真展も開催されるなど、支部事業も少しずつ平常に戻りつつある。

#### [審議事項]

新型コロナウイルスの影響を受けて、前回幹事会以降に計画が変更された事業について、担当の委員会・PTから説明を受け審議を行い、了承された。

(事務局) 埼玉支部から支部設立10周年記念式典中止の連絡があり。(登山教室) 中級登山教室の9月常念岳～蝶ヶ岳は乾徳山に変更。(10周年記念事業) 雲取山集中山行は中止に決定。(安全対策) 安村淳氏講演会「安心安全登山のためのエネルギーと水分補給」が中止になっているので、「新春の集い」や支部主催の講演会などに代えて実施できないかとの提案あり。現下の状況では講演が中止になる可能性もあるため、外部よりも支部会員に講師を依頼する方が無難ではないかとの意見あり。

(河野、自然保護) 野火止保全地域保全活動のPTへの移管について提案があり、了承された。PTは支部規程上の決まりがないので、担当幹事を明確にして、事業計画、予算等についても扱いについて検討する必要がある。

[事務局連絡] 東京多摩支部への入会申込み受付手順が統一されていなかったため、支部事務局から入会希望者に入会申込書セットを郵送することで統一する。都岳連は9月から登山教室、講習会、イベントを再開する。

#### [委員会報告]

(小澤、総務委) 新入会員オリエンテーションに新入会員12名参加予定。支部入会申込み処理は支部長、事務局長と調整し役割分担を整理した。会員名簿に各委員会から名簿に付属したい資料の希望がないことを確認。名簿は来年以降は隔年発行の方針。「新春のつどい」の実施の可否について11月中に決定し12月に会員に案内する。

(野口、会報) 「会報たま」第42号は16頁で11月上旬に発行予定。原稿締切りは9月末。最近の会報を参考にして書式に沿って投稿して欲しい。

(高砂、山行) 安全対策委員会から提案のあった山行と併せた講習は今後調整していく。オンライン会議の運用を検討。2021年4～11月までの山行案を選定。新山行委員を対象に9月から登山技術講習を開始する。

(河野、自然保護) 第3回の野火止保全活動を8月30日(日)に実施し、9名参加。第4回を9月29日(火)に実施予定。野火止保全地域「秋の観察会」を10月23日(金)と11月29日(日)に実施予定(p.16参照)。

(北島、安全対策) 11月18日に「緊急時現地(遭難対策本部)対応シミュレーション研修」実施予定で各委員会・PTに参加要請。登山計画書の受理は9月河野、10北島、11月中村、12月佐藤。

(中村、BC運営) エベレスト登頂50周年記念写真・資料展は8月の来訪者87名でPR法に課題が残った。芋煮会を11月28日(土)に実施予定(p.16参照)。

(河野、登山教室) 次年度は8期受講生を2班に分けて4月から教室を実施予定。1年間の教室とするか7ヶ月とするか検討中。宿泊山行については見直しを検討。9期は来年度も中止する。登山教室PTの運営業務を役割分担して実施する。

[監事](小口) コロナ禍で各種事業に様々な制約がある中で、各委員会、山行など活発に活動していることは喜ばしい。(竹中) 会員全員が集まることが難しく、委員会などに参加していない会員は情報が不足しているため会員の声を吸い上げる工夫を考慮してほしい。

### 会員移動 7～9月(総務委員会)

7月	入会	1名	長田晴人(A0341)
	退会	6名	時田昌幸(6499)、渡辺篤夫(11148)、伊藤伴(15656) 安田令(A0161)、吉岡礼子(A0060)、内村直子(A0039)
8月	退会	2名	大貫重子(15070)、神尾重則(10580)
9月	入会	1名	田中千鶴(A0316)
	退会	1名	神崎忠男(6002)

### 2020年度会費入金状況(財務委員会)(人)

	入金者数	未入金者数
7月	276	48
8月	284	38
9月	286	36

\*入金後退会 8月2名、9月2名

### 登山計画書受理・検討件数(安全対策委員会)(件)

月	支部山行	同好会山行	個人山行	合計
7月	3	0	13	16
8月	1	0	19	20
9月	4	0	8	12
7-9月合計	8	0	40	48

### 種別残高(財務委員会)(円)

	普通預金	郵便振替口座	安全対策積立金	ルーム積立金	周年事業積立金
7月末	1,588,879	8,580	1,225,829	791,000	304,000
8月末	1,517,549	28,580	1,228,129	791,000	304,000
9月末	1,455,382	32,580	1,228,129	791,000	304,000

### BC利用状況(BC運営委員会)(人)

	宿 泊			日帰り・一時利用(休憩)		
	会 員	会 員外	合 計	会 員	会 員外	合 計
7月	2	0	2	0	0	0
8月	1	0	1	31	56	87
9月	0	0	0	0	0	0
4-9月合計	3	0	3	31	56	87

### 会員動向 7～9月(総務委員会)(人)

	総会員	通常会員	準会員	会友
7月末日	320	240	79	1
8月末日	318	238	79	1
9月末日	317	237	80	1

## カレンダー (2020年12月～2021年3月)

日程	山行	イベント(講座・講演)
11/18(水)		安全対策委員会講習会「緊急時現地対応・遭難対策本部シミュレーション」
11/28日(土)		奥多摩BC運営委員会「芋煮会・エベレスト登山こぼれ話」
11/29日(日)		自然保護委員会「野火止保全林見学会」
12/12(土)	定例山行 / 鍋割山(丹沢)	
12/24(木)	平日山行 / 秋山二十六夜山(道志)	
1/21(木)	平日山行 / 鋸山(房総)	
1/23(土)	定例山行 / 権現山(上野原)	
2/6～7(土日)	中級登山教室山行	
2/13(土)		「新春の集い」(中止)
2/25(木)	平日山行 / 棒ノ折山(奥多摩)	
2/27(土)	定例山行 / 浜石山(静岡)	
3/13(土)～14(日)	定例山行 / 美ヶ原	
3/18(木)	平日山行 / 四阿山直下(秩父)	
3/27～28(土日)	中級登山教室山行	

(コロナ禍により変更がありますので、申し込み前に確認してください)

### 野火止保全林見学会と玉川上水、 野火止用水散策のお誘い

自然保護委員会

自然保護委員会が保全活動を始めた東京都の雑木林「保全地域」(小平市)の見学会を開催します。玉川上水と野火止用水の緑道は人気の散策コースです。

日時 11月29日(日)  
集合 午前9時45分 玉川上水駅(西武拝島線、多摩都市モノレール)  
解散 午後3時 東大和市駅  
コース 玉川上水駅～東京都水道局小平監視所～清流復活の碑～こもれびの足湯～「野火止保全林秋の観察会」～野火止用水赤れんがの遊歩道～都立薬用植物園(ガイドによる植物観察会30分、自由参加)～東大和市駅

募集 10人程度  
持物 マスク、弁当(午後参加者)、飲物、敷物、雨具  
申込 高間晃子 greengevillage424@gmail.com  
問合 高間 080-5070-7433  
岡田 090-4059-6967  
締切 11月22日(日)

### 錦秋の渓谷散策と恒例芋煮会 +エベレスト登山こぼれ話

奥多摩BC運営委員会

日時 11月28日(土)  
渓谷散策 集合 鳩ノ巣駅 午前10時  
講演と芋煮会  
会場 奥多摩BC 集合 午後1時  
会費 1300円(含BC使用料)  
講演 午後1時30分～  
講師は神崎忠男氏(p.2参照)  
芋煮会 講演終了後に開催、午後4時30分終了予定  
★芋煮会・講演会のみ参加もどうぞ。  
締切 11月20日(金) 先着順12名(厳守)  
申込 坂本正智  
葉書 〒206-0031 多摩市豊ヶ丘2-1-8-102  
Fax 042-373-3238  
メール big-matti@khh.biglobe.ne.jp



**編集後記** コロナ禍は終息の見通しがつかず、支部の「新年の集い」も中止せざるをえませんでした。年に一度の集いを楽しみにされていた方も多く、とても残念です。来年度の集いはなんとしても開催したいものです。また、登山教室もPTの尽力によって、無事開催されるように願っています。受講生とともに山行するのが楽しみです。(野口いづみ)

会報 **たま** 第42号 2020年11月10日発行  
発行所 公益社団法人日本山岳会東京多摩支部  
〒188-0011 東京都西東京市田無町4-11-11  
izumi\_noguchi@yahoo.co.jp  
会報委員会 野口いづみ、村岡庸こ、石川さとみ、川崎真琴、吉川三鈴